

# んぽん舗

ポツ



222号

2022年 2月

[発行元]

石巻市NPO支援オフィス  
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63  
TEL・FAX 0225-23-3641  
MAIL: centerishinomaki@gmail.com  
http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/  
開館時間: 月~金 10:00~20:00  
土曜日 10:00~18:00  
休館日 日曜・祝日・第四木曜日

毎月25日発行

NPOや市民活動に  
役立つ情報を  
お届けします。  
みなさまからの  
情報提供もお待ち  
しております。



## ピックアップんぽ

## 登録番号 8 石巻千石船の会

副会長: 本間英一さん

### ○「石巻千石船の会」設立

千石船、ひらた舟などの歴史と文化を核にして、会員相互の親睦と江戸期に奥州一の湊として栄えた石巻湊の歴史的視点に立ち、街づくりの一助とすることを目的に1995年7月に発足。

### ○活動内容

- ・石巻湊の歴史勉強会
- ・東北地方の湊を回りその土地の方のお話を聴く
- ・資料館をめくり資料収集
- ・聞き取り調査(\*資料がない場合)
- ・機関紙の発行(☆機関紙「ふるさとのかたりべ」)



ロイクんの質問:「千石船」ってなんですか？

本間さんの回答: 米を1000石積める船のことです。

石巻地域では「穀船(こくぶね)」とも言い、石巻から江戸まで米や大豆などを運んでいました。1600年代は小さい船で米200石、1700年代からだんだんと大型になり700~800石積みが多く、江戸後期には1500石積みができてきました。



ロイクんの質問:  
江戸時代の米の量を  
表す単位の「石(こく)」  
について、1石はどのくらいの量なの？

本間さんの回答: 1石は米約150Kgです。

### ○郷土史から学ぶ

門脇町にある本間さんのご自宅敷地内に建つ土蔵。明治30年に建てられた二棟あった土蔵は一棟が震災で倒壊。浸水はしたものの運よく残った土蔵は現在、民間の震災遺構として震災の惨状や石巻の歴史を後世に伝えるべく、力強い様相で建っています。



土蔵の中は小さな郷土資料館のような作りになっており、千石船の歴史を堪能することができます。当時、江戸から積んでくる物品リストや船主が江戸から買って来た瀬戸物など、海都石巻のロマンが詰まった空間でした。



自分たちが生まれ育った土地の歴史を知ることは自分のルーツをたどることにつながる。その一方で、郷土の災害史を忘れていた人が多いと本間さんはおっしゃいます。1960年に発生したチリ地震では津波に襲われ、北上川にかかる内海橋の橋げたに漁船が衝突するなど大きな被害をもたらしました。

当時、津波警報が出ると、川を見に行ったり、川底が見えるので魚を捕りに行ったりしたそうです。大正2年(1913年)の高潮被害は、沿岸部が広く浸水し大きな被害を出したがほとんど知られていないのではないのでしょうか。郷土史を知ることは大切で、特に災害の歴史から今と、将来に活かせることが必ずあるでしょう。それと同時に、石巻は魚の美味しさだけにスポットが当てられがちですが、魚を捕る漁師さんがどういった苦勞をして生活しているのかを知ることも必要です。

平成18年に起こった第七千代丸の遭難事件など、市内には漁業関係者の供養碑も何カ所か建立されています。

写真(右):  
日和山公園で  
最も大きな  
ちょうど100  
年前の供養碑



写真(左):  
本間さん

石巻千石船の会は設立から27年となりました。

機関紙の発行も続けており、歴史から学ぶことの大切さを、ロマンに触れながら発信しています。石巻の発展の一助となるべく、これからも活動していきます。興味のある方、石巻の歴史に関する資料をお持ちの方は是非お知らせください。

よろしくね

### ○石巻千石船の会

住所: 石巻市門脇町2-9-7  
電話: 090-9536-2354

\* 展示資料館の見学をご希望の方は、事前にご連絡下さい。



## 4コマで学ぼう! 「脳を活性化しよう」

先日新年を迎えたと思っていたら、もう2カ月が経ちました。立春を過ぎれば暦の上では春ですが、温かくなるのはもう少し先のようです。

さて、脳の機能の中には、季節によって変化するものがあるようです。集中力と記憶力、冬はなかなか活発ではないのかも。そう考えれば、歯磨き粉を買い忘れ続ける自分も愛おしい。

石巻市民公益活動団体の中にも、心と体の健康管理、地域で健康的に暮らせる社会づくりに取り組んでいる方がいます。



### 助成金情報

#### 2022年度 ポーラ伝統文化振興財団助成事業

日本には先人が残したすばらしい文化遺産が数多くあります。日本人の英知と感性から生れた世界に誇る伝統文化は、一度失ったら再び取り戻すことが困難なもので、大切に受け継がれていかなければなりません。本事業は、助成を通じて、日本の伝統文化の維持・向上にささやかながら貢献しようとするものです。

#### ○対象分野

日本の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で保存・伝承・振興活動および調査・研究活動において、有効な成果が期待できる事業に対し、補助的な援助を行うものです。

#### ○募集する事業

- ①無形の伝統文化に関する保存・記録作成事業
- ②無形の伝統文化の後継者育成・普及事業
- ③無形の伝統文化に関する調査・研究
- ④無形の伝統文化の復元・伝承事業
- ⑤無形の伝統文化の保存のために欠くことのできない技術や原材料・道具等に関する伝承事業

#### ○助成金額

補助的な援助を実施することを前提に1件あたり、30万円から200万円程度の金額を助成します。助成金額は選考委員会で計画を審査、精査のうえ、内定されます。

○申請書受付期間 2022年2月1日から2022年3月31日まで。

#### ○問合せ

電話 03-3494-7653 ポーラ伝統文化振興財団事務局まで  
またはメール (info@polaculture.or.jp) まで  
問合せ対応時間 (10:00~17:00 ※土・日・祝祭日除く)

### 石巻市NPO支援オフィスより

#### ☆新スタッフのご紹介☆

昨年12月より、いしのまきNPOセンターに木下優作(きのしたゆうさく)さんが新スタッフとして、入って下さいました。皆さま、これからどうぞよろしくお願ひ致します。

★出身地: 石巻市

★休日の過ごし方:  
誰かと遊ぶ。家でボーっとしている。

★今はまっているもの:  
サウナ、ドライブ



#### 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、子育て支援施設が臨時休館になったり、各種イベントが中止または延期になったりと、石巻市民公益活動団体のみなさんは年明けから踏ん張りどころに直面しております。そんなみなさんの活動状況もお伝えできるように努めてまいります。

